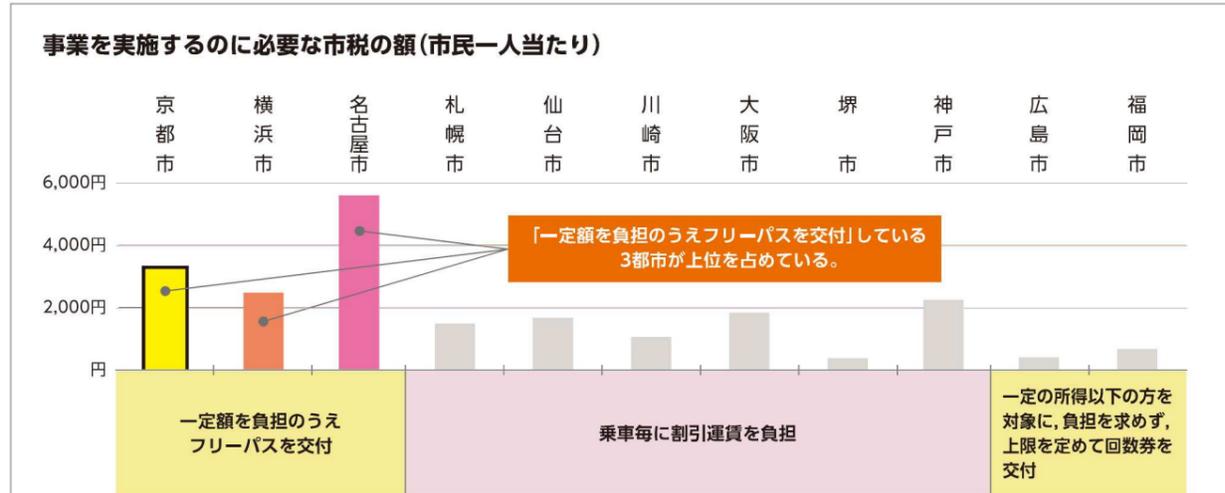


他都市の制度概要					
都市	参考:京都市	名古屋市	神戸市	大阪市	
乗車証の種類	フリーパス	フリーパス	利用毎に割引運賃を負担	利用毎に割引運賃を負担	
事業費の負担割合	市税 89% 利用者 11%	市税 93% 利用者 7%	市税 64% 利用者 36%	市税 50% 利用者 50%	
制度概要	合計所得金額等に応じ、0円～15,000円(5段階)の負担金(年額)	合計所得金額等に応じ、1,000円～5,000円(3段階)の負担金(年額)	乗車料金 バス:110円を上限とした小児料金 地下鉄等:小児料金 低所得者対策 非課税かつ本人の年収が120万円以下の方に対して、年30,000円分の無料乗車券を交付	負担金(年額) 3,000円(一律) 乗車料金 1乗車当り50円(バス・地下鉄とも)	

※事業費の負担割合は、本市が独自に推計したものであり、実際の割合と異なる場合があります。



市は、今後どう検討を進めていくんですか？

本制度は大事な取組なので、幅広い世代の市民の皆様意見を踏まえて慎重に検討をしていく必要があると考えています。そこで、無作為に抽出した18歳以上の5,000人の市民の皆様アンケート調査等を実施し、いただいたご意見を踏まえてさらに検討を進めていきます。

アンケートが届かなかった方も、本制度に関するご意見をぜひお寄せください。
下記連絡先へ、お手紙やメールでお伝えください。

発行：京都市保健福祉局健康長寿のまち・京都推進室介護ケア推進課
住所：〒604-8171 京都市中京区烏丸通御池下る虎屋町566-1 井門明治安田生命ビル2F
電話：京都いつでもコール 075-661-3755 (FAX: 075-661-5855)
Mail: kaigohoken@city.kyoto.lg.jp



皆さんに知って
いただきたい

敬老乗車証制度の

現状や課題について



- 本市では、高齢者の皆様に敬老の意を表するとともに、社会活動、生きがいづくり、介護予防等に役立てていただくため、70歳以上の希望される方に敬老乗車証を交付しています。
- この制度は、利用者の負担金(所得に応じ年間0円～15,000円)と本市の市税とで維持しており、現在、年間52億円※を交通事業者に支払っています。 ※負担割合は、市税が9割(46億円)、利用者が1割(6億円)です。

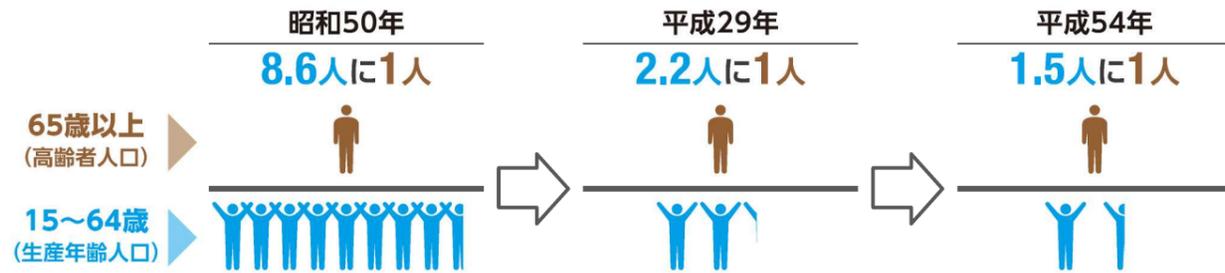
高齢者にとって大事な制度だから、これからも続けた方がいいと思うけど、高齢化が進むと、経費がどんどん増えていくんじゃないかしら。税金の使い道など、私たちの世代にも大きく関係することだし、将来利用したいと思うから、よく考えていく必要があるわね。

そうなんです。そのためにも、まずは敬老乗車証制度の現状や課題について、幅広い世代の皆様を知っていただきたいと思っています。次のページをご覧ください。

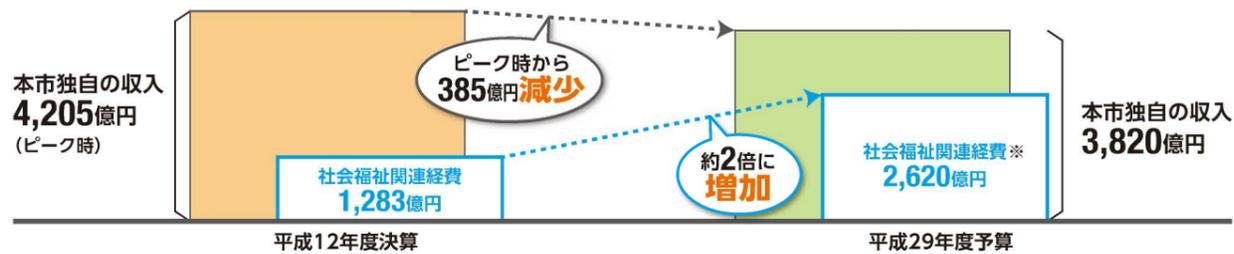


京都市保健福祉局健康長寿のまち・京都推進室 介護ケア推進課

少子高齢化の進展に伴い、世代間の負担のバランスが変化しています。



市税などの本市独自の収入は伸び悩みが続いている一方、社会福祉に関連する経費は増加し続けています。



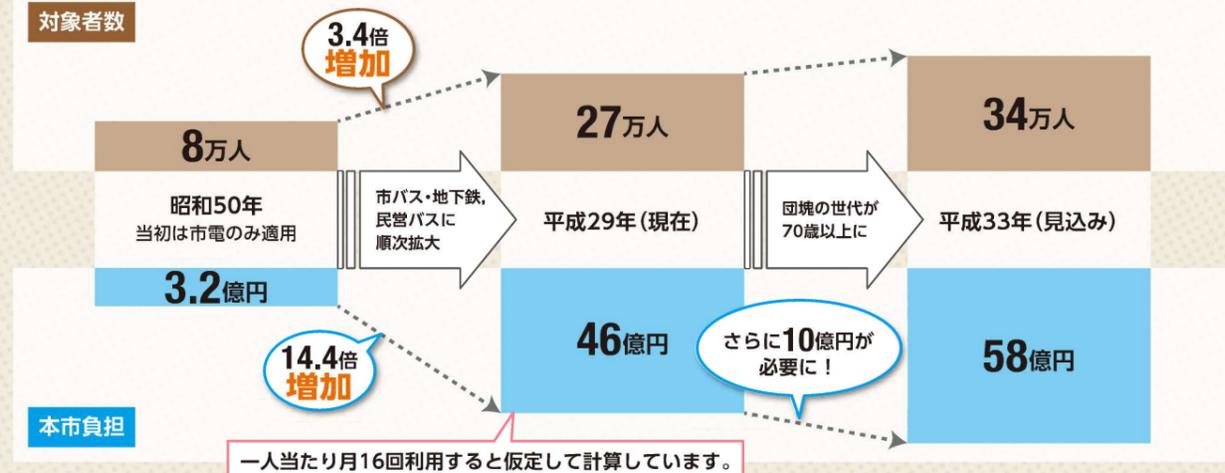
※社会福祉関連経費…国民健康保険や介護保険、保育所運営費など本市が義務的に負担する経費

過去10年間で3千人以上の職員削減など、徹底した行財政改革を進めることにより、必要な財源を確保してきています。しかし、今後も社会福祉に関連する経費は増加していく見込みです。

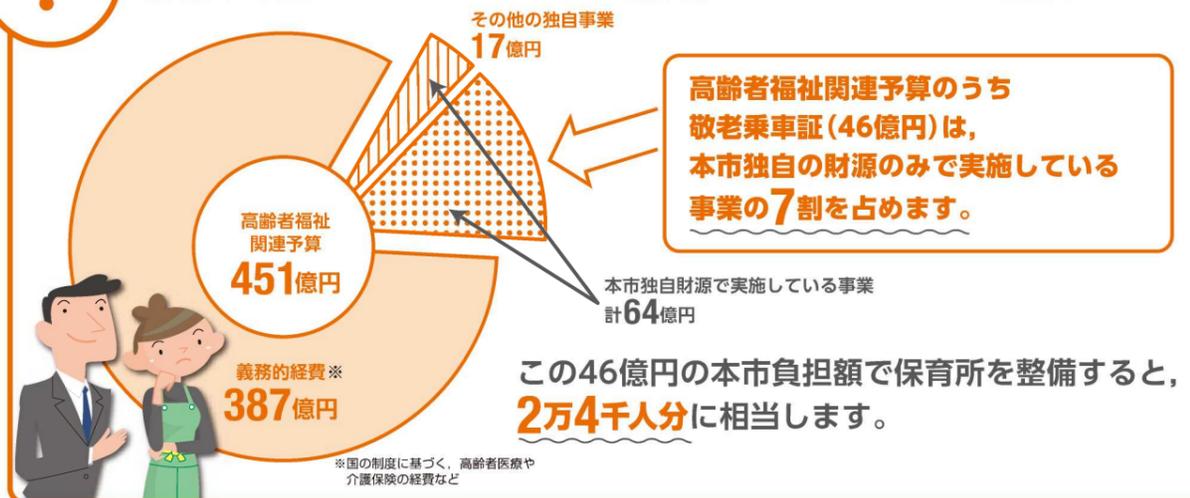
福祉にかかる経費が年々増加していることはわかったけど、なぜ敬老乗車証制度の課題について考える必要があるの？

この制度は、本市独自の高齢者福祉施策の中で最も多く税金を使って実施している事業なんです。利用者数の増加により、制度開始時の3億円から、46億円まで増加しており、このままだと、団塊の世代が70歳以上となる平成33年度には、さらに10億円が追加が必要になる見込みです。

対象者数



? 敬老乗車証にかかっている「46億円」ってどのくらいの規模なの？



今後の収入の伸びを見込むことが難しい中で、敬老乗車証制度を維持していくためには、多くの方の意見を踏まえながら、持続可能な在り方を考えることが必要なんです。

なるほど。いまさらですが、敬老乗車証制度ってどんな制度なのか、私たちの世代はよく知らないの、詳しく教えてください。

敬老乗車証って何？

希望する70歳以上の京都市民に対し交付している、市バス、地下鉄全路線に乗車できる乗車証(年間フリーパス)です。(市バス・地下鉄が運行していない一部地域では民営バス乗車証を別途交付。) 所得に応じ、年額0円~15,000円の負担金をお支払いいただいています。

※参考：大学・短大生向け 市バス・通学フリー定期券 6か月42,770円(年額換算85,540円)

どんな目的で実施しているの？

長年にわたり社会に貢献してこられた高齢者の皆様に敬老の意を表するとともに、様々な社会活動に参加し生きがいづくりや介護予防に役立てていただくことを目的としています。

どれくらいの人数が利用しているの？

27万2千人の対象者のうち、13万4千人(49.3%)の方が交付を受けています。(平成28年度時点)

最初に一定額を支払うことで、年間のフリーパスが交付される制度なんですね。確かに、高齢者の皆さんにたくさん外出していただくには有効な制度だと思いますが、このような制度は他の都市にはないですか？

敬老乗車証制度に類する制度を設けているのは、20政令指定都市中13都市で、詳細は次のページのとおりです。